

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 信文



### ■ 公立大学法人のスタートに向けて

竜王山近く（正確には JR 小野田線の雀田駅前）の山口東京理科大学が、来年4月、私立の学校法人東京理科大学から、本市の公立大学法人となることは、みなさん、すでにご存じでしょうか。一時は廃校の噂が出たり、他へ移転するのではないかなど、地元のみなさんには随分ご心配をおかけしましたが、来年4月から山口東京理科大学は、現地で「公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学」として、再スタートします。

公立化すると授業料がおよそ半額になり、いろいろな点で国立大学に準じた扱いを受けることのほか、この大学の将来像や大学のある街への期待感などもあってか、今年は受験生が激増し、ここ20年間で初めて定員200人（1学年）の7倍を超えました。予備校の情報では、山口東京理科大学の今年の入学生の偏差値は一挙に上がり、学力的にも国公立大学の仲間入りを果たしたようです。

この勢いを止めてはならない、そんな思いを込め、10月は、県下公私立の高校70校を8、9グループに分け、山口東京理科大学の先生と二人で組み、日帰りで一巡する計画を立てました。私は、公立化のメリットと本市の紹介をし、ご一緒の先生には、山口東京理科大学の特徴を語っていただく予定です。

学生が象牙の塔に引きこもることなく学外に出て本市に溶け込んでもらえるよう、市民のみなさんからもお知恵をお借りし、ご協力をお願いするつもりです。

卒業後の就職先の開拓には、特に地方創生という国家事業に沿って公立化した大学である以上、卒業生の大半が、市内か、少なくとも県内の主だった企業に就職し、地域産業界のキーパーソンとして活躍できるよう、行政として精一杯お手伝いするべきではないか。そのように考えています。

高校回りの後、就職先開拓の計画を立てる予定ですが、きっと市民のみなさんのお力をお借りする機会も多いのではないかと推察されます。どうかその節は、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

